

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】 生涯学習課

会議の名称	令和元年度 第1回茅野市社会教育委員の会議		
開催日時	令和元年 6月11日(火) 午前9時30分～午後0時10分		
開催場所	茅野市役所 703・704会議室		
出席者	<p>宮坂昌一委員長、平出美彦副委員長、市川純章委員、大下京子委員、金田照俊委員、小林洋一委員、中村正幸委員、宮坂章委員、矢崎智義委員、矢崎美知子委員、山田亨委員</p> <p>山田教育長、平出生涯学習部長、有賀こども部長、藤森生涯学習課長、両角文化財課長、中村スポーツ健康課長、五味こども課長、矢島中央公民館長、田中中央公民館教育係長、永澤家庭教育センター館長、辻井図書館長、両角八ヶ岳総合博物館長、両角八ヶ岳総合博物館係長、柳川博物館古文書担当、小池文化財係長、山科考古館係長、中澤神長官守矢史料館長、上条スポーツ健康係長、宮下こども係長、北澤文化芸術係長、伊藤生涯学習係長、畑中教育指導主事、柳平生涯学習係主査</p>		
欠席者	なし		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
山田教育長	<p>1 開会(藤森生涯学習課長)</p> <p>2 委嘱書の交付 該当者交付</p> <p>3 山田教育長あいさつ 皆さんおはようございます。ご多用中にもかかわらず、昨年度に引き続き委員を引き受けていただきありがとうございます。また、今年新たに引き受けてくださった小林様、中村様、宮坂様、山田様どうぞよろしくお願い致します。本当に大変ではありますが、どうか茅野市の社会教育のためにご尽力いただきたいと思います。社会教育は生きがい学習になりますが、生涯を通じて誰もがいつでもどこでも学べるそのための環境整備や資料の提供を私達が行ってまいりたいと思っております。茅野市の社会教育、生涯学習が全国で注目される場所でもあります。そんな中で皆さんの貴重なご意見を大切にまいりたいと思っております。と同時に社会教育は人と人とが繋がっていくまちづくりでもあります。最後をお願いしたいことですが、年2回の会議になりますが、会議以外の時でも社会教育全体についてご意見がございましたらぜひお聞かせいただきたいと思います。調べ学習について1度ご意見をいただいたことがありますが、そのご意見のおかげで昨年度の調べ学習からいろいろと変えることができました。ちょっとしたご意見が私たちの参考になりまた社会教育を進めていくこととなります。些細なことでも結構ですのでぜひご意見をお聞かせいただきたいと思います。</p>		

青少年の教育についてですが、学校教育の部類と思われがちですが学校教育と並ぶ意味でかなり重要になってきています。学校との関連と言えば読書教育になります。その点もまたお願いしたいと思います。本日は各部署の事業計画を発表していくわけですが、昨年度の様子で私が気がついたことですが、中央公民館としてスタートして1年になります。諏訪市の公民館と共同で作った「てくてくマップ」があらたに1,000部増刷されました。多くの方々が西山一帯を大切にしてくださっています。高齢者大学、一番のバロメーターだと思いますが、94歳の方から130名以上の方が学んでらっしゃいます。

家庭教育センターの子育て講座が大変好評であります。後でご報告があるかと思えます。家庭子育て教育相談が130名以上の方が家庭教育センターで行っているとのことで今後大切にしていきたいと思っております。

尖石縄文考古館で、土器の展示だけでなく縄文教室、縄文を楽しむ教室など教養的講座的なものを20回近く行われています。生涯学習、社会教育中心になっています。

文化財も縄文の里史跡整備・活用基本計画は、昨年個別計画として策定されました、したがって大きな視野で尖石遺跡一帯の史跡公園化を考えています。

総合博物館では昨年度、30周年を迎えて様々な行事が行われました。市民研究委員の方が今年第3期に入り、昨年度第2期の方30名に新たな研究員方の委嘱が行われました。全国でも非常に価値のある取組であり、市民研究員と協働していく取り組みです。

守矢史料館ではとても嬉しいことに10,000人見えられ達成されました。ずっと7,000人くらいで来ていて、御柱の年は確かに増えるのですが、御柱の年でもなく増えたのでこれからも頑張ってもらいたいです。

スポーツ健康課の関係、体育設備の整備をひとつひとつ進めて行きたいと思えます。

以上であります、どうか1年間よろしく申し上げます。

#### 4 自己紹介（出席者）

#### 5 正副委員長の選出（藤森生涯学習課長）

事務局の腹案により選出。承認。

正副委員長あいさつ（宮坂昌一委員長・平出美彦副委員長）

#### 6 社会教育委員の役割について（伊藤生涯学習係長）

審議に先立ち、社会教育委員の役割について説明を行う。

～資料1の説明～

#### 7 審議会の公開について（伊藤生涯学習係長）

審議に先立ち、審議会の公開について説明をおこなう。本日の会議の公開、議事録への委員の名の記載について説明及び確認を行う。議事録に関しては、ホームページに公開する。

（質疑）

委員	議事録への委員の名の記載について、自分の意見には責任を持つが、議事録の公開にあたっては、委員だけ差支えないのではないか。
藤森生涯学習課長	昨今の審議会報告書での大勢は委員だけとなっていることが多い。
委員	ホームページから誰でも使用される中で間違った伝わり方になっても困るので委員のままで良いのではないか。
委員	見る方にとっては内容が大事だと思うので委員で良いと思う。 (その他出席委員からは意見なく今回の議事録からは委員とすることで承認)
	<p>8 会議事項</p> <p>(1) 令和元年度社会教育委員年間事業計画について (伊藤生涯学習係長) 資料に基づき、年間事業計画について生涯学習係長が説明を行う。 ～資料2の説明～ (出席委員からは意見なく承認)</p> <p>(2) 社会教育関係団体補助金の交付について (伊藤生涯学習係長) 資料に基づき、社会教育関係団体補助金交付団体と補助金について生涯学習係長が説明を行う。 ～資料3の説明～ (出席委員からは意見なく承認)</p> <p>(3) 令和元年度社会教育関係主要事業計画について 資料に基づき、令和元年度主要事業計画について、生涯学習係長、中央公民館長、家庭教育センター館長、図書館長、文化財課長、八ヶ岳総合博物館長、神長官守矢史料館長、スポーツ健康課長、こども課長から説明を行い、説明毎意見交換・質疑応答を受ける。</p>
委員	<p>① 生涯学習課</p> <p>学校開放講座において、昨今の働き方改革の中で教員の休暇がとれず残業時間に繋がらないよう、担当が負担にならないように校長や教頭と連携をとって行ってほしい。</p>
伊藤生涯学習係長	昨年は30講座であったものを今年度は18講座にした。教員の負担の軽減を考えたことと、開かれた学校づくりの中で、コミュニティスクールの位置づけをもたせ外部講師で補っていくように昨年から行っている。
委員	コミュニティスクールの研修があり参加したが、外部講師がいてくれることがありがたいが、例年同じ方で高齢化となり世代交代ができず、人出不足となりこの先も先細りしてしまうのではないかとこの地区からも出ていた。公民館講座などが行われているが、学校との流れを作ることひとつの手法ではないかと案がでたので参考にしてほしい。

山田教育長	<p>県で進めている信州型コミュニティスクールの考えでは、次の世代を考えた時 15～20 年間の課題としてでている。単なる学校応援団的なことでなくて、コミュニティスクール自身が地域作りに関わり一体となってゆっくり取り組んでいこうと茅野市では考えています。今、応援してくれている地域の人がいなくなると次がいなくなることは県も課題としている。案を参考に工夫していきたい。</p>
委員	<p>ようこそ先生を実施するが、新指導要項に向けても学校単独ではなくて社会や地域との連携を強くうたわれているかんじである。コミュニティスクールの力を借りて堅穴式住居の作成や、大清水を題材にしたペープサート劇を製作、地域公開した実践を行なった。このような形を続けながら、地域・社会と連携して学校としても行っていきたい。</p>
委員	<p>多くのものは、市民に対してサービスを提供して市民が用意されたものを受けるが、学校における生涯学習の推進事業は、市民がそれを作ること・作る側に入ってくる機会を作るといふ、市民の協力を仰ぐ機会を事業にすることはいいことだと思ったし、教員の負担軽減に繋がること、市民が先生になることも生涯学習だと思った。</p>
委員	<p>生きがいを作るための生涯学習と言われる中で、生きがいとは社会の役にたつことが一番の生きがいになると思う。参考になると思うのが、ロングモントに行った時、デンバーの博物館では展示するものを市民が作っている。そのボランティア斡旋やコーディネートしている機関が市にある。市民が参加できるシステムが市にあることが大事で一歩進めるのではないかと思う。</p>
委員長	<p>開かれた学校づくりがあるから外部の方を招くのではなくて、そのクラスの学びの中で外部の方に来てもらうと成果が上がり子どもたちの芽を育てることを今までもやってきたが、常に充実してやっていくことが学びを深め 自分を活用していただけたという生涯学習に繋がるのではないかと思う。</p>
委員	<p>② 中央公民館 昨年から「中央公民館」となりいろいろな講座を企画してくれたが、今回の講座内容を見ても、子どもにとっても大人でもワクワクする講座を企画してくれて嬉しい。市民の方がぜひ行ってみたいという刺激のある講座をこれからも企画してほしい。</p>
委員	<p>講座は普通、用意された体験を時間の中で皆が同じ体験をしていくことが多い中で、自分だったらどうするかという基礎を教えて、個人のやりたいこと自由な発想をストーリーとした講座を企画している。</p>
委員	<p>③ 家庭教育センター 各団体との連携の中での事業は、親子の居場所づくりに役にたっているの</p>

委員	<p>で続けて協力してほしい。</p> <p>ちの地域のお母さん方の悩みを聞く場所や子どもと遊びにくる場所として活用されているのではないかと思う。こども館でもいろいろ企画をして建物を多くの人が利用しているが、多くの子どもたちが駐車場でも遊んでおり安全面で心配している。</p>
副委員長	<p>多くの方に活用している姿、また相談員の方もいる中で良い雰囲気であるのでいいなと思う。まだ市内の中で知らない人がいると思うので情報発信を行ない広く活用していただきたい。</p>
委員	<p>冊子作りの情報提供だけでなく、ウェブを活用して情報の発信をしてほしい。</p>
委員長	<p>駐車場や施設の老朽化の件は、永明小中学校の建設の中で一体になれないか。</p>
有賀こども部長	<p>永明小中学校建設の基本構想策定の中で、地区センターと家庭教育センターとの連携と、そこを含めた駐車場の整備も課題の1つとなっている。設計業者と地区の委員会と市とで設計を進めていく中で、重要な課題としてあがってきているので解決できるように進めていきたい。</p>
委員	<p>④ 図書館</p> <p>こども館の図書と図書館の図書との連携はできているのか。また、こども館からの需要の希望があるのか。またこども館からこんな講座をしてほしいとの希望があるか、いずれにしてもこども館が地域で開かれた図書館になるように検討してほしい。</p>
副委員長	<p>⑤ こども読書活動応援センター</p> <p>セカンドブック事業でプレゼンターを行ったが、他の学校の様子が分からない。どの学校でも同じ内容で足並みをそろえて行っているのか。</p>
伊藤生涯学習係長	<p>読り一む in ちの セカンドブック部会役員主導で行っている。進行に当たっては、学校（校長・教頭）と相談しながら地域の状況に合わせて、プレゼンターの選任や読み聞かせの方を決めている。どの学校も、だいたい同じ体系で地域に密着した方をお願いしている。</p>
副委員長	<p>永明小学校では参観日に親が学校へ来てプレゼントをもらった後、読み聞かせを行っていたが、他の学校も参観日で同じ時間があるのか。</p>
伊藤生涯学習係長	<p>参観日にあわせて行い読み聞かせをしたあと、本のプレゼントをし、限られた時間の中で親子での読み聞かせをしている。</p>
藤森生涯学習課長	<p>実施日が違うだけで全小学校同様の形態で足並みをそろえて行っている。</p>

山田教育長	<p>感覚的な感想だが、昨年まではお父さんもお母さんもやや緊張していたが、今年は肩の力が抜けていた。もう少したてばセカンドブックをもらい始めた子どもたちがお父さんお母さんになってきます。</p>
藤森生涯学習課長	<p>セカンドブックプレゼント一期生が今年1月に行った成人式の参加者（成人者）であった。今年の成人式は厳粛な中で行われたので、その姿からも成果がでていのではないかと思う。</p>
委員長	<p>調べ学習を行うのに方法を子どもたちに教えるだけでなく、調べてまとめてみて「良かったよ」「分かったよ」と感じられるよう子どもたちへ大事におろして行ってほしい。賞をもらう子どもたちは、方法論的や表現の仕方も素晴らしいと思うが、賞をもらわなくても「こういうことが分かっておもしろかった」と思っている子どもたちにも光を当てていてもらわないと表向きの調べ学習になってしまうのではないかと思うので検討してほしい。</p> <p>⑥ 文化財課 文化財係 ⑦ 尖石縄文考古館・青少年自然の森</p> <p>⑧ 八ヶ岳総合博物館</p>
委員	<p>ソフト面が充実していてよくやっぴらっしゃることが良くわかる。開館30周年を迎えて展示品がかなり古く傷みがあるように見えるが、展示物のリニューアルの予定はあるか。総合博物館にいくと、茅野市の生活の歴史が分かり、これから先も多くの観光客が行くので古くなっていく展示物をどのように考えているのか。</p>
両角八ヶ岳総合博物館長	<p>ありがたい意見、ありがとうございます。今年度館長になり感じているので、教育委員の方や市の財政の方で協議していただき、展示替えができるように応援してほしい。</p>
委員	<p>お金をかければいいのではないことは分かっているので、市民参加の方法もあるし、大学の展示を学生たちが授業の中でする方法もある。お金のかけ方を工夫すると良いと思う。タブレットを利用して担当職員が合間を見て情報発信を行っているようだが、専門性ではない方が行くと限界が感じられる。レクチャーを受けながら映像コンテンツを作るワークショップを若者たちと組み合わせてやると良いのかなとかアイデアだと思う。全部職員が行うのではなく「博物館リニューアル講座」みたいに開き、どこをどうしたらいいのかアイデアをもらい進めれば、人件費は市民のエネルギーで抑えられるのではないかと思う。</p>
委員	<p>デンバーの博物館では展示している草木などボランティアで作っている。せっかく姉妹都市のロングモントがあるのだから学生を呼ぶだけでなく、こういう運営をどうしているのかアイデアをいただいてもいいのでは。お金の話では、海外では博物館などは観光資源になっている。多くの観光</p>

	<p>客がショップでお金を使っている。もう 1 つは、お金を博物館などに寄付する場合、それができないらしい。自分の父親が亡くなった時に、図書館に寄付（遺志金）したいと言ったら、お金ではもらえないと断られた。そういう道、遺志金も受け付けられるように今後検討してほしい。</p>
副委員長	<p>創意工夫展の募集を毎年行っているが、昨今理系離れも聞かれるが応募数はどうか。</p>
柳川古文書担当	<p>創意工夫展では、1 クラス出品点数を 2 点と決めているので毎年の変動はなく 200 点強くらい。</p>
委員長	<p>子どもから大人まで楽しめる、学べる博物館を目指していることが分かる。</p>
委員長	<p>⑨ 神長官守矢史料館 孫を連れて見学に行くと、駐車場には停まっている車は全て県外車であった。中では来館者が一生懸命に見たり聞いたりしていた。守矢史料館は、この地の文化を茅野市民だけでなく、全国に開かれ知ってもらって学べる場なのかなと感じた。専門的な場を大事にしてほしい。</p>
委員	<p>⑩ スポーツ健康課 「スポーツ活動の活性化と競技力向上のためのスポーツ指導者の養成」に関して、近年、暴力によって指導する強豪チームによくあるニュースが聞かれるが、競技としての技術をあげるのはもちろん大切だが、指導者の養成という部分で、ケガをしたら無理させず休ませる指導ができる人が少なく思う。スポーツ医学的な部分で子どもたちの発育に合わせ、今後のことを考えた指導ができる養成も含めてほしい。</p>
平出生涯学習部長	<p>子どもとコーチと監督と息の合った指導ができればいいが、行政として競技ごとの指導者に大まかな部分でお任せをしている。指導者に対してどのようなはたらき方があるかと思えば、子どもたちにケガをさせないとか栄養学面とか、長く競技に接していられるような夢を与えられるよう想いを指導者がもって企画を育てていかななくてはいけないと思う。茅野市の養成プログラムみたいなものの作成を検討している。専門競技知識だけでなく、一般的に子どもたちを育てていく栄養学的なことも取りこめるよう検討していきたい。</p>
有賀こども部長	<p>学校現場の部活動からは、体罰についてや長時間の活動について課題が挙げられてきている。指導する中で、子どもたちの育ちを中心に据えて国の方でも部活動のガイドラインが示され、県でも部活動におけるガイドラインができた。それを受けて茅野市でも部活動における指針を作成し、週に対してどのくらい休養期間を設けなくてはいけないとか、体罰はしっかりと禁止をしていく指針を設けた。その中で指導に対する細かな技術的な面とか、栄養学的な面までは指針の中に入っていないので、専門性の部分は教員だけでは賅いきれないので、部活動指導員の方を各協会から募集しても</p>

	<p>らい、各学校各部に1名ずつ配置を行っている。先生方の働き方改革を含め、子どもたちに正しい指導をする、正しい技術を身につけさせることを第一の目的としてやっているところ。取り組みの足りないところは、今後、検討しながら進めていきたいと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>子どもたちへのスポーツ指導には3種類ある。1つは学校教育での部活指導、2つ目は社会教育団体での活動、3つ目は総合体育館などスポーツ健康課主催で行う小学校向け、親子向けの運動教室がある。学校教育では国や県や市で指針を出し、スポーツ科学に基づいた部活をやっている、社会体育の中でいかに完璧なスポーツをやり自分たちがどう考えてやっていくか。社会教育団体のスポーツについても情報を提供してどうスポーツ科学を取り入れていくか、私たち自身も科学的指導者の育成、今後の方向、情報提供を行っている。部活の時間が減ってきているので保護者の方にもご理解を得ていく。</p>
<p>委員</p>	<p>スポーツ指導者の養成とはどれをターゲットにしているのか。ここで養成された人はどこで活躍する人になることを想定した基本方針なのか。</p>
<p>平出生涯学習部長</p>	<p>今指導している方（教員や民間の方）をターゲットにできればと思っている。これから指導者になりたい人も含めるが、基本的には今、指導している人たちにどんな講座をやりたいのか、学びたいのかの声をきいて作れば良いと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>民間のスポーツ団体なのか、学校教育のクラブ指導者なのか。</p>
<p>平出生涯学習部長</p>	<p>全体を考えているので、興味があれば来てもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>スポーツ少年団、スポーツ協会、補助金をいただいているが、スポーツ協会の重点項目の中に指導者の育成がある。市の補助金の中から各協会に分配し、指導者の教育をしてほしいことを伝えている。日本スポーツ協会ではコーチライセンスを大事にしていて、指導者になるにもコーチライセンスが必要で、試合のベンチに入るにもコーチライセンスが必要なことを各競技団体で進めている。コーチライセンスの中には栄養学、子どもの発育期の体の特色などを盛り込んだ内容になっている。現在は、完璧にひもづいたもので教えている。暴力については、日本スポーツ協会からくどいほど通達がきている。市町村の団体へも重要な指導要綱に入っている。体育施設が古くなっている。昨年度はテニスコートの整備があったが、体育館フロアがだいぶガタガタになっている。矢崎市長の時に使用頻度の高い順に直す話があったが、実際には体育館の使用頻度が一番であるのに後回しにされているので検討してもらいたい。費用が掛かることは承知しているがお願いしたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>体育館については毎年ご意見を頂いており、ケガになってからでは問題なのでぜひ検討してもらいたい。</p>



委員	<p>⑩ こども課こども係</p> <p>昨年9月「育成センター情報」の中にある湖東地区コミュニティセンターこども館メイトさんが書いた文章が素晴らしく、こども課の許可を得ているいろなところで配布して活用している。</p>
委員	<p>子どもの悲しい事故が多い中、母子手帳を配布している健康づくり推進課の方で0歳児から健康診断を行うと思うが、来ていない家庭のチェックはしているのかどうか。市の健診に来ていない家庭への手立てはしているのか。</p>
五味こども課長	<p>こども課の「育ちあいちの」と、健康づくり推進課、保健福祉サービスセンターが連携をし、また、こども家庭支援係で児童手当等の受付をしているのでチェックもできることから、漏れがないように取り組んでいる。なかなか健診に来られないお子さんには保健師が連絡をしたり、訪問をするなどして対応をしている。</p>
教育長	<p>学校教育の関係では、1ヶ月以上休んでいる子、あるいは登校を拒否している子には、必ず訪問して顔を見て在宅しているか確認をしている。</p>
委員長	<p>現場で母親からの表情をみて、気になるようであれば声をかけている。待っているだけでなく、こちらから声をかけること大事かと思う。</p>
委員	<p>「ネットトラブル相談窓口の実施」があるが、小中学生でスマホを持っている時代であり、どのようなネットトラブルの相談があるのか。</p>
五味こども課長	<p>ネットを使用するうえでのトラブルに関する相談啓発をしているが相談はない。相談を受けても専門的な内容になるので対応が難しい。県がラインで行っている窓口があるので、連携をとって進めていきたい。</p>
委員	<p>学校の方で小中学生の携帯を持っている状況把握をしているか。何か指導はしているか。</p>
教育長	<p>今、手持ちの資料を持っていないが、小学校6年生で県平均よりは1ポイント少ない。中学生も同じ。学校では各学校で、全校あるいは低学年、高学年でネットモラルの勉強会を行ない、計画的に指導している。表に出ない部分に気をつけて、子どもたちの心が健康になっていかないとネットのマイナス面の要因をみんなで考えていくことが、遠回りのようだが一番の近道だと思う。</p>
委員	<p>スマホがいけないという時代ではなくあるのが当たり前なので、学校で常に指導をお願いしたい。</p>
委員	<p>P T Aと校長会と先生方と生徒指導に関する話の中で、県全体の資料の中</p>

	<p>で、ネットで悪口を書かれる事例を解決した話を聞いた。「保護者向け」が重要になってくると思った。親がまず実態を知らないと、子どもが何をやっているのか分からないので、必要な知識の情報提供をしていくことが大事。悪口を言わないという部分ではスマホやネットが介在するだけで、基本的に子どもたちに教えなければいけないことがあるので、PTAを含めて一緒に行っていきたい。</p>
委員	<p>～全体を通して意見・質問～</p> <p>部活動の中で、保護者側のヒートアップのし過ぎの部分が気にはなっている。子どもたちにかかる過度な期待が子どもたちの育成に妨げになっている。家庭で試合後の質問はしないようお願いしている。子どもたちの中には、成功した子もいれば失敗した子もいて、その話題を夕食の場で出されたらさらに辛くなるという場面もある。保護者側の観点からは、自分の子だけの応援、審判への抗議ではなく、グッドサポーターでいなければならないのが保護者であり指導者であると思うし、選手たちの姿を見守るのが大人である。チャンピオンスポーツとレクリエーションスポーツの分け目、隔たりが随分あると思う。スポーツは本来、楽しいものだとするところに、大人たちの視点を持たないと健全な育成にならないと思う。</p>
藤森生涯学習課長	<p>8 その他 (事務連絡)</p> <p>・昨年3月に社会教育推進計画が策定されたが、進捗状況を施策評価シートに作成している。これを用いて、社会教育委員会において情報を共有し、今後の進め方に対する意見を集約する会を開きたい。8月の中旬(盆明け)くらいに、臨時の社会教育委員会として開催予定している。</p>
平出生涯学習部長	<p>・地方分権一括法案が令和元年5月31日に成立した。社会教育施設を市長部局へ移管しても構わないという法案が通った。茅野市では教育委員会の姿勢として、学校教育と社会教育が連携して茅野市の教育を担っていく姿勢を理解してほしい。</p>
藤森生涯学習課長	<p>本日は活発な貴重なご意見ありがとうございました。いただいた意見につきましては持ち帰って検討させていただきたいと思います。私的に嬉しかったことは、3年目になりますが、委員さんが全員揃ったということ、活発なご意見、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>9 閉会</p> <p style="text-align: right;">～午後0時10分 会議終了～</p>